

.....

館園名 : 泉佐野市立歴史館いずみさの

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

- ・ 1996 年 05 月 18 日

所在地

- ・ 〒598-0005 大阪府泉佐野市市場東 1 丁目 295-1

公式サイト

- ・ <http://www.city.izumisano.osaka.jp/section/rekishi/index.html>

設立主体

- ・ 泉佐野市

運営主体

- ・ 泉佐野市教育委員会社会教育部歴史館いずみさの課

設立目的

- ・ 泉佐野市の先人が残した歴史遺産を継承し、歴史や文化を普及啓発する。

展示概要

- ・ 「常設展示」: 「中世荘園の人びと」。本市の国史跡・中世荘園である日根荘の歴史を紹介している。
- ・ 荘園村落ジオラマ・荘園絵図(複製)・考古資料など。

活動概要

- ・ 特別展(秋季)、企画展(春季)、特別陳列(年 2~3 回)、ホール展示(年間 10 回)。
- ・ 親子向け体験講座(月 1 回)、歴史セミナー(月 1 回)、古文書講座(年 5 シリーズ)、指定文化財民家住宅での体験講座、お茶会、史跡見学会。
- ・ 市史編さん事業。

延床面積

- ・ 1,531 m²

全職員数 (常勤職員)

- ・ 8 名 (2005 年 01 月現在)

年間運営費

- ・ 45,000,000 円 (2003 年度)

総資料点数

- ・ 点 (年 月現在)

施設その他

- ・ 歴史館の管理施設に、旧新川家住宅(指定文化財・公開中)、旧向井家住宅(指定文化財・休館中)、市史編さん分室がある。

2. ボランティア活動 名称：歴史館活動協力員

活動目的・経緯

- ・ 歴史館事業の再活性化、市民利用の拡充を目指して、2004年4月から協力員募集を開始し、4月から活動を開始した。学芸員とともに協力して資料の整理調査、展示の設営などを行う。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 12名（2005年01月現在）
- ・ 男性：7名、女性：5名
- ・ 平均年齢 48歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：歴史館係
- ・ 担当人数：常勤職員 2名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①展示の設営、②資料の整理調査、③野外資料調査(未着手)。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 協力員活動は毎月第2・4木曜日を定例とする。
- ・ 活動員には歴史館展示の入館料、普及講座の参加料を免除している。

関連する出版物

- ・ 協力員じたいの出版活動はない。歴史通信(同封)や市広報誌で活動内容をその都度紹介している。

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 泉佐野市観光ボランティアの協力を検討中(未着手)。

活動個別シート 活動名：①展示の設営

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 12 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展、特別展、企画展、特別陳列、ホール展示の設営作業を学芸員とともに行う。

◇活動日

- ・ 定例日はなく、展示会期の前後ないし期間中、随時行う。年間 10 数日。
- ・ 日時は年間行事カレンダーにて予め連絡している。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。必要品は館予算・備品から補填。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし。（協力員全員で行う）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。随時行う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集はその都度、歴史通信やチラシで行う。選考は学芸員で当たるが、特に基準は無い。任期・人数の定数は無い。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特に研修日は無い。展示設営作業の中で行う。講師的な役割は学芸員が行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 活動員には歴史館展示の入館料、普及講座の参加料を免除している。
- ・ 保険の導入は目下検討中。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 展示設営から、今後は展示企画立案、解説シート作成、ガイドボランティアの活動を検討している。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②資料の整理調査

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 12 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 主に民具資料、美術品資料の整理調査を行う。

◇活動日

- ・ 毎月第 2・4 木曜日が定例活動日。これ以外は随時行う。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。必要品は館予算・備品から補填。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし。（協力員全員で行う）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。随時行う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集はその都度、歴史通信やチラシで行う。選考は学芸員で当たるが、特に基準は無い。任期・人数の定数は無い。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特に研修日は無い。展示設営作業の中で行う。講師的な役割は学芸員が行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 活動員には歴史館展示の入館料、普及講座の参加料を免除している。
- ・ 保険の導入は目下検討中。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 展示設営から、今後は展示企画立案、解説シート作成、ガイドボランティアの活動を検討している。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 大阪・海遊館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1990 年 7 月 19 日

所在地

・ 〒 552 - 0022 大阪府大阪市港区海岸通一丁目 1-10

公式サイト

・ <http://www.kaiyukan.com/index.html>

設立主体

・ 大阪ウォーターフロント開発株式会社

運営主体

・ 大阪ウォーターフロント開発株式会社

設立目的

・ 水族館の経営ならびに魚類等の生態の調査・研究。各種催事、展示会の企画・開催および映画・その他各種の興行。自然環境への関心を引き起こさせることを目的とする。

展示概要

・ 魚類・哺乳類などを飼育。世界最大級の水槽を中心として、極地から熱帯までの環太平洋火山帯の各地域を再現、展示する。「リング・オブ・ファイア」をテーマとする。

活動概要

・ 常設展のほか、テーマにそった企画展示など。「魚のとおりぬけ アクアゲート」、売店、レストランなど。「海遊館ガイドツアー」「ナイトツアー」など、各種イベントや教室の開催。海遊館ガイドブック、「ものしり博士シリーズ」、写真集、図鑑、機関紙「かいゆう」などの発行。

延床面積

・ 18,800 m²

全職員数（常勤職員）

・ 約 90 名（ 2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 円（2003 年度）

総資料点数

・ 約 30,000 点（ 年 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：海遊館友の会ボランティア

活動目的・経緯

・平成14年4月よりボランティア事業を立ち上げる。同年6月に海遊館友の会会員よりボランティア募集を行い、同年9月より26名で活動開始。社会教育施設として、生涯学習の機会と場を提供する。ボランティアに楽しんでもらうことで、海遊館への愛着・理解をより深めてもらう。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 33 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 9 名、女性： 24 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称： 企画事業部内ボランティア事務局
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ イベント開催時の受付やお客様の誘導、イベント準備など。
- ・ ボランティアデー（ボランティアが自主的に企画立案、準備、運営を行うイベント）。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 現在は館主導の活動がメイン。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：各種イベントの補助応援

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 33 名（ 2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ イベント開催時の受付や、お客様の誘導、イベント準備。
イベントの例として、ペンギンパレード、野外観察会、海遊館スクール、ドルフィンスイム。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ イベントにより参加人数、役割分担はさまざま。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ イベントの1～2ヶ月前に主にメールで参加者募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 説明会（活動内容の紹介）研修会（接客マナー講習、博物館学の概説、海遊館の経営理念の説明）を、四月か五月ごろに全員を対象に実施する。各一回。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 現在、イベントの補助・応援ボランティアが活動の主体であるが、よりボランティアが楽しみながら自己啓発につながり、海遊館への愛着も増していただけるような活動を模索中。

◇その他

- ・

活動個別シート① 活動名：ボランティアデー

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 33 名（ 2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ ボランティアが企画、準備、運営を主体的に行う。実施例として、ペンギン・アシカ・アザラシの特別解説。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 館内のレクチャールームを利用して、特別解説のスペースとする。

◇運営（シフト 等）

- ・ 2～3 日間の開催。シフトはその都度決定。ボランティアが少ない場合、館職員が補助。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 約三ヶ月前より告知。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ボランティアが主体となり、自主的に会合。館職員も参加。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 参加者が少なく、一部に負担がかかりすぎる人が多いので、より参加しやすい仕組みづくりが必要。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 大阪市天王寺動物園

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1915年01月01日

所在地

- ・ 〒543-0063 大阪府大阪市天王寺区茶臼山町1-108

公式サイト

- ・ <http://www.jazga.or.jp/tennoji/>

設立主体

- ・ 大阪市

運営主体

- ・ 大阪市

設立目的

- ・ 設立が大正時代のためくわしい資料がのこっていない。

展示概要

- ・ 都市型動物園として、限られた面積の中に生態学的展示の手法に基づいて建設された施設を用いて、動物の形態、生態のみならず、生息地についての情報も提供できるような展示を行っている。

活動概要

- ・ 環境教育と種の保存を活動目的に据えて、動物の飼育展示のみならず、各種の講演会や講座、体験教室などの教育的なイベントや希少動物に関する研究も行っており、国内外の多くの動物関連施設と連携して各種の事業を進めている。

延床面積

- ・ 110,000 m²（総面積）

全職員数（常勤職員）

- ・ 63名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 83,886,000円（2003年度）＜経常経費（支出）＞

総資料点数

- ・ 313種1,494点（2004年11月現在）

施設その他

- ・ 現在「Z0021計画」（ゾー21計画）を進めている。これは、老朽化した施設（獣舎）を、生態学的展示の考えに沿った内容の施設に順次改築していく計画で、施設の改築に従って動物の解説などソフト面の見直しも進めている。

2. ボランティア活動 名称：大阪動物園ボランティアーズ

活動目的・経緯

- ・ 目的：規約により「本会は誠意と奉仕の精神をもって、動植物公園の指揮監督のもと、動植物公園の事業に協力し、自然科学の普及・啓蒙に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とする」。

経緯：1976年に設立。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 26名（2005年1月現在）
- ・ 男性：7名、女性：19名
- ・ 平均年齢44.1歳：男性60.2歳、女性38.2歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：飼育課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ① スポットガイド（動物舎の前などで動物に関する解説を行う）。
 - ② サマースクール（小学生を対象とした体験教室の補助を行う）。
- ・ その他、機関紙発行（毎月）、勉強会（毎月1回）、野外学習会、（年数回）を実施。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 動物園の指揮のもと、自主的に運営されている。
- ・ 年に1度総会を行っている。
- ・ 毎週日曜日と夏期のサマースクール実施日に活動。
- ・ 研修は採用時に職員による事前研修あり。（約4ヶ月間）。毎月1回自主的な勉強会あり。
- ・ 学生の会員数が減少してきている。
- ・ 50代以上の会員数が増加してきている。

関連する出版物

- ・ 大阪動物園ボランティアーズ用テキスト（最新版：1996年発行）。
- ・ 機関紙「おおずぼら」（毎月1回発行）。
- ・ 会員のしおり
- ・ 大阪動物園ボランティアーズ案内のしおり

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①スポットガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 20名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・ 動物舎の前などで、その動物の骨や餌また様々な小道具等を活用し、入園者に対して説明します。テレビなどと違い実際に匂ったり触れたりすることで、五感を通じて伝えることができる動物園ならではの活動です。私達が最も力を入れている活動で、相手が大人子供を問わないため難しい面もありますが、やりがいのある活動です。

◇活動日

- ・ 毎週日曜日（例会実施日以外）。
- ・ 夏期のサマースクール実施日

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室があり、関連書籍なども揃っている。
- ・ ユニホームは園から貸与のものと各自購入のものあり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 会員を3班に分け、班ごとに園内の3ヶ所で開催。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 例会…毎月1回開催します。行事や活動計画などを話し合い、企画等の決定を行っていく場です。また、各種の連絡等も行います。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集は不定期で、市の広報紙や新聞などで行う。面接にて選考する。
- ・ 定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 勉強会…毎月1回ボランティア内で行っています。毎回各ボランティアが持ち回りで企画し様々な自己啓発になっています。
- ・ 野外学習会…園内だけでなく、園外に出て野外学習会を行っています。例年、ムササビ観察会と野鳥観察会を行っています。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（費用は園が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 冬季など、季節的に屋外での時間をかけた解説が困難な時期には剥製や骨格など各種標本をイベントホールなどにあつめて、集中的に解説するような活動も実施している。

活動個別シート 活動名：②サマースクール

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1976年

◇活動人数

- ・ 16名（2004年7月現在） のべ42名

◇活動内容

- ・ 天王寺動物園では毎年夏に小学4年生から6年生の児童を対象に動物や動物園の仕事について知っていただくためのサマースクールを開校しています。飼育実習や獣医師の体験談を聞くなどして、動物園でしかできない体験をしてもらいます。私達は資料の準備やスケジュールに添って、児童の引率を行います。

◇活動日

- ・ 7月下旬の6日間。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室があり、関連書籍なども揃っている。
- ・ ユニホームは園から貸与のものと各自購入のものあり。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集は不定期で、市の広報紙や新聞などで行う。面接にて選考する。
- ・ 定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特定の動物種に対する体験学習が必要な場合には事前研修を行う場合あり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（費用は園が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 平日にも実施されているイベントで、会員の負担が大きい。

.....

館園名 : 大阪市立住まいのミュージアム

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2001 年 04 月 26 日

所在地

・ 〒530 -0041 大阪府大阪市北区天神橋 6 丁目 4-20

公式サイト

・ <http://www.city.osaka.jp/sumai/museum>

設立主体

・ 大阪市（住宅局）

運営主体

・ 大阪市住宅供給公社

設立目的

・ 2002 年には、愛称として「大阪くらしの今昔館」を採用。「住まい」を中心に、「暮らし」から「まちづくり」までをテーマとする、歴史系のミュージアムとして設立された。大阪の都市居住の歴史を楽しく学ぶ中核施設として、大阪に対する愛着とイメージアップを図る住宅情報の拠点となる。

展示概要

・ 住まいというテーマを中心として、大阪の町並みを実物大で再現。調度や道具は、すべて実物資料を用い、体感する展示を目指している。常設展示室は、近世の展示室「なにわ町家の歳時記」と、近世の展示室「モダン大阪パノラマ遊覧」からなる。

活動概要

- ・ 住まいや暮らしをテーマにした企画展の開催。
- ・ 常設展示室（江戸時代大阪の町並み）を活用したイベントやワークショップなどの開催。
- ・ 各種の講座やセミナーなどの開催。
- ・ 年報、ミュージアムニュースなどの発行。

延床面積

・ 3640.86 m²

全職員数（常勤職員）

・ 7 名（ 2005 年 1 月現在）来館者対応業務は外部委託

年間運営費

・ 円（2003 年度）

総資料点数

・ 約 5,500 点（ 2005 年 1 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称： 町家衆

活動目的・経緯

・大阪くらしの今昔館のボランティア養成講座を開催し、講座修了者に「大阪くらしの今昔館市民学芸員証」を発行。このうちの希望者がボランティアに登録し、自発的にさまざまな活動を繰り広げている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 127 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 51 名、女性： 76 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：ミュージアム係
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ガイドツアーの実施。
- ・お年玉、からくり玩具などを作るワークショップの実施。
- ・紙芝居、のぞきからくりなどの実演。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・種類ごとのメンバーは固定化せず、興味に応じて自由に参加している。
- ・ボランティアの提案により、活動内容、種類の充実が図られている。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：＜共通回答＞

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 127 名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・ ガイドツアーの実施。
- ・ お年玉、からくり玩具などを作るワークショップの実施。
- ・ 紙芝居、のぞきからくりなどの実演。

◇活動日

- ・ 主として日曜日、祝日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 活動に要する経費はその都度館で負担している。
- ・ 工作室をボランティア室として利用している。

◇運営（シフト 等）

- ・ シフト等は決めず、臨機応変に対応している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 工作室の掲示板に連絡事項等を掲出するほか、必要に応じて通知を発送している。
- ・ 1年に2～3度、全体の連絡会を開催している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年12月に、ホームページ、市広報誌などを通じて募集を行う（全体で50名）。
- ・ 資格、定年等は一切ない。ただし毎年3月に、継続の意思確認を行っている。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 登録前に事前研修（職員による養成講座、連続五回）を実施。
- ・ 登録後はボランティアが自主的に勉強し、必要に応じて館から関連資料を提供する。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入（費用は館が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動は充実してきているものの登録メンバーで実際活動していない人も多く、種類を増やしていく必要がある。

◇その他

- ・ ボランティアの活動を目当てにしたリピーターが多い。

.....

館園名 : 大阪市立東洋陶磁美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1982 年 11 月 07 日

所在地

・ 〒530 -0005 大阪府大阪市北区中ノ島 1-1-26

公式サイト

・ <http://www.moco.or.jp>

設立主体

・ 大阪市

運営主体

・ 大阪市・大阪市美術振興協会

設立目的

・ 住友グループ 21 社より、「安宅コレクション」を寄贈されたことを記念して設立された。充実した収蔵品・最新の展示設備・立地条件のよさを生かし、親しみやすく快適な新しいタイプの都心型の美術館をめざす。

展示概要

・ 「安宅コレクション」の中国陶磁・韓国陶磁を中心に、国宝や重要文化財を収蔵。
・ 常設展のほか、企画展・特別展を開催。

活動概要

・ 年に一回から二回、専門的なテーマの展開によって企画展・特別展を開催。
・ 本館のほか、平成 11 年には李秉昌韓国陶磁コレクションを展示する新館も加わる。
・ 映像ライブラリー、喫茶サロン、ミュージアムショップ、講堂、友の会など。

延床面積

・ 3921.80 m²

全職員数（常勤職員）

・ 10 名（2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 円（2003 年度）

総資料点数

・ 約 2700 点（2004 年 12 月現在）

施設その他

・ 自然採光を利用した展示ケースを採用するなど、展示設備が充実している。

2. ボランティア活動 名称：ボランティア・ガイド

活動目的・経緯

・大阪市の生涯学習活動の一環として、所蔵品のガイドを、土・日の午前午後の二回にわけて行ってきた。現在、ボランティアの自主運営によって、ボランティアが発意し、実行に向けて活動できるような環境を、ボランティアと館の二者で討議中。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 32 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 9 名、女性： 23 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 学芸課
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 来館者へのガイド・サービス（特別展はのぞく）
- ・ 土・日以外の予約ガイド
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館の普及・広報に関わる仕事に限定し、ボランティアの発意による活動を現在模索中です。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート① 活動名：土・日定刻ガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 12 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 土・日（特別展をのぞく）の午前 11 時からと午後 1 時からのガイド・ツアー。

◇活動日

- ・ 土・日

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア用図書、文具、パネルなど。
- ・ ボランティア専用室はなく、コピー室を併用。

◇運営（シフト 等）

- ・ 美術館・学芸課による。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア同士。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 二年を一期とし、二期まで延長可。任期切れの一年前に友の会のうちから募集し、約 10 人を選考。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員による研修（採用時に五回から六回）。年に四回くらいの研修（展示替えの後）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険加入のみ。

◇評価

- ・ 対外的に好評を得ている。

◇課題と展望

- ・ かなりの水準の知識はクリアし、活動自体も軌道に乗っている。ただし、現在のボランティアの選考を友の会会員を対象とするだけでなく、広く募集すべきではないかと考えられる。

◇その他

- ・

活動個別シート② 活動名：祝日、団体ガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 20 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 祝日の定刻、午前 11 時からと午後 1 時からの二回のガイド。
- ・ 五人以上のグループの予約ガイド（開館時全般）。

◇活動日

- ・ 祝日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア用図書、文具、パネルなど。
- ・ ボランティア専用室はなく、コピー室を併用。

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア同士。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 二年を一期とし、二期まで延長可。任期切れの一年前に友の会のうちから募集し、約 10 人を選考。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 展示替え後の研修を学芸員によって行う。
- ・ ニヶ月に一度、定例会。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険加入のみ。

◇評価

- ・ まだ発足してから間がないが、来館者より好評である。

◇課題と展望

- ・ ボランティアの自主制度がまだ本格的に動いていない。どのような活動が可能なのか模索中。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 大阪府営箕面公園昆虫館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1953年4月 日

所在地

・〒562-0002 大阪府箕面市其面公園 1-18

公式サイト

・<http://www.osaka-park.jp/insect/>

設立主体

・大阪府

運営主体

・(財)大阪府公園協会

設立目的

・府営（都市）公園の付属施設として、其面の昆虫を紹介。

展示概要

・昆虫標本、生きた昆虫、パネル、模型等。

活動概要

・展示と催し、移動昆虫教室など。

延床面積

・1,000 m²

全職員数（常勤職員）

・2名（2004年12月現在）

年間運営費

・約80,000,000円（2003年度）

総資料点数

・約20,000点（2004年12月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・3つのボランティアあり。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 23名（2004年12月現在）
- ・ 男性：12名、女性：11名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・①いきいき会…17名
- ・②おもしろ工作クラブ…5名
- ・③クワガタ探検隊…1名
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ ①昆虫館の企画運営について意見交換。毎月1回集まって意見交換。
- ・ ②催し物を企画開催。毎月1回催し物を実施。
- ・ ③催し物を企画開催。毎月1回催し物を実施。

関連する出版物

- ・なし

関連するHP

- ・http://

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①いきいき会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 17 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 昆虫館の企画運営に対し意見交換。

◇活動日

- ・ 月末の日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ メールで連絡。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 会員の推薦による。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ なし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②おもしろ工作クラブ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 5 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 昆虫館の催しである昆虫を題材とした工作教室を開催。

◇活動日

- ・ 第 2 土曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 消耗品の支給。

◇運営（シフト 等）

- ・ 開催日の午前中に打合せ。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 昆虫館と打合せするが内容についてはまかせている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③クワガタ探検隊

◇活動開始年（西暦）

- ・2002年

◇活動人数

- ・1名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・オオクワガタを親子で育て、親子のコミュニケーションをはかり、環境に対する勉強を行っている。

◇活動日

- ・1回／月。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・なし。

◇運営（シフト 等）

- ・年度のはじめに年間のスケジュールについて話合う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・その都度。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・昆虫館との連絡が少なくなっているため、共同作業を増やす工夫が必要。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 大阪府立狭山池博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 2001年03月28日

所在地

- ・ 〒589-0007 大阪府狭山市池尻中2丁目

公式サイト

- ・ <http://www.sayamaikehaku.osakasayama.osaka.jp/>

設立主体

- ・ 大阪府

運営主体

- ・ 大阪府

設立目的

- ・ 狭山池改修に伴い、発掘調査で出土した資料を保存・展示し、治水・かんがいの歴史を普及するため。

展示概要

- ・ 狭山池の堤の断面（移築保存）をはじめとする、狭山池の創設（飛鳥時代）以来の土木遺産、狭山池管理や開発にかかわる文書、絵図など。

活動概要

- ・ 土木や治水、かんがいの歴史に焦点をあてた特別展を年1回開催。
- ・ 狭山池の管理を江戸時代よりつとめた「池守田中家文書」特別公開を年1回開催。
- ・ 特別展や特別公開に合わせて講演会、ハイキング、体験学習など。

延床面積

- ・ 4,948.47 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 4名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 152,240,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 140点（2004年12月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：大阪府立狭山池博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2001年、開館時より、広く府民に親しまれ、生涯学習の場と機会を提供するために開始、2004年に再度募集。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 29名（2004年 12月現在）
- ・ 男性：18名、女性：11名
- ・ 平均年齢60歳：男性65歳、女性52歳

ボランティア担当職員（2004年 12月現在）

- ・ 部局名称：部局名なし
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名
実際の業務は非常勤も含め、全員で当たる。

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により、研修・連絡等を行っている。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 狭山池まつり実行委員会など、周辺公園でも活動団体もあり、それらの活動と関連づけている方もある。

館としては複数団体と連携させる活動はしていない。

.....

館園名 : 大阪府立上方演芸資料館 (ワッハ上方)

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1996 年 11 月 15 日

所在地

・ 〒542-0075 大阪府大阪市中央区難波千日前 12-7

公式サイト

・ <http://mic.e-osaka.ne.jp/kamigata/>

設立主体

・ 大阪府

運営主体

・ 大阪府 (生活文化部文化課)

設立目的

・ 上方演芸に関する資料等を収集・保存・公開し、後世に伝えるとともに、新しい上方演芸を創造し、大阪文化のより一層の振興発展に寄与することを目的に設立。

展示概要

- ・ 常設展示室において収蔵品を紹介する。
- ・ 年 3~4 回、テーマを決め、それに関する資料、収蔵品を紹介する「特別展」の実施。
- ・ 毎土・日曜日の上方亭ライブ (若手芸人による落語・漫才等のライブ)。
- ・ 月 1 回のお笑い体験教室 (芸人の指導で実際に漫才、落語を体験する)。

活動概要

- ・ 貸館事業 (4 階: 上方亭、5 階: ワッハホール、7 階: レッスルルーム)。
- ・ プロデュース公演 (自主公演)。
- ・ 「上方芸能まつり」の実施 (2003 年、2004 年夏)・災害復興支援チャリティー公演 (2004 年 11 月) 等。

延床面積

・ 3,591.98 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 4 名 (2004 年 12 月現在)

年間運営費

・ 500,000,000 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 44,207 点 (2004 年 12 月現在)

施設その他

・ 民間ビルの 4 階部分のフロアを使用し、展示室・ホール・レッスンルーム・事務所を備えている。

2. ボランティア活動 名称：ワッハボランティア・ガイド

活動目的・経緯

- ・当資料館の来館者へ、上方演芸の歴史や展示品などを分かりやすく説明し、上方演芸に一層興味と関心を持っていただくために設置した。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 18名（2004年12月現在）
- ・ 男性：11、女性：7名
- ・ 平均年齢58歳：男性56歳、女性60歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（非常勤嘱託員）1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 上方演芸の歴史や展示品の説明及び案内。
- ・ ワッハ上方主催行事の際の案内。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①ワッハ上方ボランティアガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 18 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 主として来館者に対する展示室内の展示物の解説及び案内、並びにワッハ上方主催行事の際の案内等。

◇活動日

- ・ 土、日、祝日の午後 1 時～4 時までの 2 時間程度。
- ・ 団体観覧者で事前にボランティアガイドの希望がある時（随時）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティアガイド控室を設置し、はっぴ等ユニフォームを貸与。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 日 4 名程度。各人からの活動希望日を参考に調整のうえ決定。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 大阪府内在住、若しくは、府内に勤務又は在学する者で、上方演芸に関心のある方。
年齢にかかわらず、団体客の対応ができる方、期間は一年。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ボランティアガイドを対象として不定期に行っている。
ガイドメンバー同士の意見交換、演芸人による体験談など。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 活動 1 日につき、1,500 円の活動費を支給。
ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 大阪府立現代美術センター

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1980年04月01日

所在地

- ・ 〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前3-1-43 大阪府新別館北館・南館

公式サイト

・

設立主体

- ・ 大阪府

運営主体

- ・ 大阪府

設立目的

- ・ より多くの方に現代美術に親しみ、理解を深めて頂くことを目的として開館。

展示概要

- ・ 約7,500点の現代美術作品を収蔵しているが、常設はしていない。
- ・ 絵画、立体、写真、インスタレーションなど、様々なジャンルの展覧会を、企画展・貸しギャラリーを含めて年間80~90本開催。

活動概要

- ・ シンポジウム、講演会、ワークショップを開催。
- ・ 貸しギャラリー事業、美術情報の提供を行う。

延床面積

- ・ 約550㎡

全職員数

- ・ 8名

年間運営費

- ・ 110,000千円（人件費含む）

総資料点数

・

その他

・

2. ボランティア活動 名称：大阪府立現代美術センター・ボランティア

活動目的・経緯

- ・センターの運営を、より府民に開かれたものにするため。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 27名（2004年）
- ・ 男性：5名、女性：22名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：現代美術センター 担当人数：常勤1名・その他（非常勤）1名

活動の種類

- ・ ①広報活動、②資料の整理と印刷物の発送、③チラシ・ポスターの作成、④展覧会などの企画開催補助。

活動その他

- ・ 条件①：現代美術に関する知識と理解があり、積極的に活動する意思のある方。
- ・ 条件②：継続的な活動をする意思のある方（週1～2回、1日4時間程度以上）。
- ・ 全体的な課題：貸館運営が、稼働日数の7割を占めるため、ボランティアの活動メニューが少なく、ボランティアが一同に会する機会が少ない。また、常時集まることの出来る会議室のような場所が無いため、活動の活発化に限界がある。加えて、ボランティアをコーディネートする学芸員を、単独で置くことができない。
- ・ 全体的な展望：府民とのより良いインターフェースとして、ボランティアの活動を充実させることが必須である。広報役としての育成を行えるよう、努めていきたい。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①広報活動

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 27 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ボランティアの居住地などにおける広報活動を行う。

◇活動日

- ・ 不定期に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 各人の自主性に任せている。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度初めに、HP、チラシなどで募集を行う。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 展覧会ごとに、担当学芸員が内容の説明をする場を設けている。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 活動 1 日 (4 時間以上) につき、交通費等の実費弁償として 3,000 円を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 自主性に任せているため、効果が計りにくい。

◇その他

- ・

活動個別シート ②資料の整理と印刷物の発送

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 27 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 印刷物の発送。

◇活動日

- ・ 年に 6～7 回。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 都合の合う方に、参加して頂く。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度初めに、HP、チラシなどで募集を行う。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 活動 1 日 (4 時間以上) につき、交通費等の実費弁償として 3,000 円を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 作業であるため、参加者を確保しにくい。

◇その他

- ・

活動個別シート ③チラシ・ポスターの作成

◇活動開始年

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 5名(2004年)

◇活動内容

- ・ 展覧会の企画を補助するとともに、チラシ・ポスターを作成する。

◇活動日

- ・ 週に2、3回(展覧会前、半年の間)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 展覧会企画予算内で活動。

◇運営(シフト 等)

- ・ ボランティア自身で役割分担を行い、プランを立ててもらい、職員がガイドしながら完成させる。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度初めに、HP、チラシなどで募集を行う。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 活動1日(4時間以上)につき、交通費等の実費弁償として3,000円を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 「やらなければならないこと」と、「ボランティアの自主性」のバランスを取るのが難しかった。
- ・ 仕事のクオリティーをどのように求めるのかについても、悩みが大きかった。

◇その他

- ・

活動個別シート ④展覧会などの企画開催補助

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 27 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 受付、監視、作品解説など。

◇活動日

- ・ 展覧会開催日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 個人の活動希望日に沿って運営。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 展示室に交流ノートを保管し、意見交換などを行っている。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度初めに、HP、チラシなどで募集を行う。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 展覧会の内容について、学芸員がレクチャーする。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 活動 1 日 (4 時間以上) につき、交通費等の実費弁償として 3,000 円を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 大阪府立近つ飛鳥博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1994年03月25日

所在地

- ・ 〒585-0001 大阪府南河内郡河南町大字東山 299

公式サイト

- ・ <http://www.mediajoy.com/chikatsu/>

設立主体

- ・ 大阪府

運営主体

- ・ (財)大阪府文化財センター

設立目的

- ・ 古墳時代から飛鳥時代にかけての文化遺産を中心に、「日本古代国家の形成過程と国際交流をさぐる」ことをメインテーマに設立。

展示概要

- ・ 「近つ飛鳥と国際交流」「古代国家の源流」「現代科学と文化遺産」の3つのゾーンテーマで展示構成。
- ・ 直径10mの仁徳陵古墳復元模型や、木ヅリ修羅を展示。

活動概要

- ・ 年1回の特別展と、2回の企画展、歴史セミナー・カルチャーof アスカディアなどの講演会、一須賀古墳群講座、コンサートなどを実施。
- ・ 各種図録、館報を発行。

延床面積

- ・ 5,925.2㎡

全職員数

- ・ 10名(正規)

年間運営費

- ・ 232,624千円(2001年度)(近つ飛鳥風土記の丘の管理費を含む)

総資料点数

・

その他

- ・ 29万㎡の「大阪府立近つ飛鳥風土記の丘」では、40基の古墳を見学できる。

2. ボランティア活動 名称：近つ飛鳥博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1998年より活動。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 21名（2004年）
- ・ 男性：12名、女性：9名（2004年）
- ・ 平均年齢44.2歳：男性44.3歳、女性44.1歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①イベント・事業の補助。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①イベント・事業の補助

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 21 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ワークショップ「こども工作室」、「博物館体験ツアー」などのイベントや、歴史セミナー（春 3 回、秋 4 回）・歴史トーク（春 1 回、秋 1 回）、講演会、茶会（夏 1 回）などの事業の準備・受付・進行における補助。
- ・ 「考古学を楽しむ」などの事業に受講者として参加。

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ 学芸課で企画し、メール・FAXなどで協力を要請。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 2～3 月に広報をかけて募集。
- ・ 3 月に説明会。4 月に第 1 回打ち合わせ会。
- ・ 定員 20 名。任期 1 年。

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 1 日がかりのイベントの際には、昼食を支給。
- ・ ウォーキングの企画の際には、傷害保険に加入（館側負担）。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 今のところ、会員の側から独自活動を要望する声は出ていない。当面、「歴史に親しんで頂く」、「館がイベントを企画し、ボランティアさんに協力をお願いする」というスタンスでやっていきたい。

◇その他

館園名 : 大阪歴史博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 2001年11月03日 (※リニューアルオープン、前身の大阪市立博物館は1960年の開館)

所在地

- ・ 〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前 4-1-32

公式サイト

- ・ <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

設立主体

- ・ 大阪市

運営主体

- ・ 財団法人 大阪市文化財協会

設立目的

- ・ 大阪の歴史及び文化に冠する資料の収集、保管及び展示並びにその調査研究及び普及活動を行うとともに、市民の生涯にわたる学習活動を支援することにより、市民の文化と教養の向上及び学術の発展に寄与することを目的とする。(大阪歴史博物館条例 第2条 目的)

展示概要

(1) 展示方法

古墳時代(5世紀後半)の法円坂遺跡から、近現代にいたる都市大阪の歴史を古代・中世・近世・近現代の4時代に区分し、来館者にビジュアルに示している。

各時代は、再現ゾーンと詳細ゾーンに分けて展示をおこなっている。

再現ゾーン：実寸大の復元・模型・映像・グラフィックなどで時代を体感できる。

詳細ゾーン：豊富な実物資料や情報検索端末を使った関連情報をじっくり見学できる。

展示資料数(開館時点)：731点(重要文化財1件含)：随時展示替えをおこなっている。

音声ガイド：常設展示場のほか、53個所で携帯式音声ガイド(有料)から展示解説を聞くことができる。日本語・英語・中国語・韓国語の4カ国語に対応。

情報検索端末：展示場には、合計40台の情報検索端末が設置されている。

(2) 観覧コース

ハイライトコース：約1時間半、再現ゾーンを中心に観覧する。

全周コース：約半日、詳細ゾーンもあわせてすべてを観覧する。

10階：「難波宮の時代」

大化改新(645年)後と奈良時代の2時期に作られた前期・後期難波宮を中心に、古代政治都市「難波」を再現した。高層階からの眺望(難波宮跡史跡公園など)を展示に取込む手法を導入している。

9階：「大坂本願寺の時代」

親鸞を祖とする一向宗の総本山「大坂本願寺」を中心とした宗教都市(寺内町)に焦点を当てた展示をおこなっている。

9階：「天下の台所の時代」

江戸時代に商業都市として栄えた「大坂」の展示を中心にするとともに、大坂における工業や芸能、学問などの面からもアプローチした展示をおこなっている。

8階：体験展示「歴史を掘る」

再現された発掘調査の現場を中心に「なにわ考古研究所」では、土器パズルや顕微鏡観察など通じて考古学にふれながら、体験学習ができる。

7階：「大大阪（だいおおさか）の時代」

大正時代末から昭和初期にかけて発展した産業都市「大阪」の姿を、なつかしい街角の風景を通して再現をおこなっている。

4カ国語対応

常設展示場では、外国からの観覧者のために、日本語の他、英語・中国語・韓国語に対応した案内や展示パネルを多数用意している。

活動概要

・常設展

常設展示を10階～7階で実施する。常設展示では、実寸大再現・模型・大型映像等で紹介する古代から近現代にいたる「都市・おおさか」の歴史体験展示と、各時代の豊富な実物資料を展示している。また情報検索端末を各フロアに設置し、観覧者が自らの関心に応じて学習をおこなえるようにしている。

・特別展

自主企画展を中心に年間5回の特別展をおこなっている。

内容としては、大阪に関するテーマを中心におこなっている。

・平成16年度実施特別展概要

○特別展「中国五千年の名宝 上海博物館展」 平成16年3月17日～5月10日

本市と上海市の友好都市提携が締結30年を迎えたことを記念して、上海博物館が所蔵する膨大な資料の中から、青銅器・陶磁器・書画の優品を展示することで、我が国はもとより、最古の古代都市である難波宮の造営をはじめ、大阪の歴史や文化と関わりの深い中国文化を紹介する。

○特別展「初期伊万里展－染付と色絵の誕生－」 平成16年6月2日～7月12日

江戸時代初期に朝鮮からもたらされた技術によって成立した伊万里焼の誕生から発展までを伝世の優品と出土資料をもとに展示するとともに、あわせて特集展示で、一大消費地であった大坂での出土品を紹介する。

○特別展「生人形と松本喜三郎」 平成16年8月25日～10月4日

幕末から明治期にかけて、難波新地での見世物興行や海外での博覧会等の展示にも使われた人形師・松本喜三郎の国内外に残る精巧な作品を展示し、幕末・明治における生人形をめぐる世界の実像を紹介する。

○難波宮跡発掘50周年記念 特別展「古代都市誕生」－飛鳥時代の仏教と国づくり－

平成16年10月27日～12月20日

難波宮跡発掘50周年を記念し、これまでの発掘調査で得られた資料や中国・朝鮮半島の都市遺跡の資料を中心に展示し、東アジア世界の中での日本古代都市の誕生を紹介する。

○特別展「阪神タイガース展」－ファンと球団の70年史－ 平成17年2月23日～5月9日

平成17年に創立70周年を迎える阪神タイガースの歴史を回顧し、球団・選手・ファンに関わる様々な資料の展示をおとして、ファンと球団の70年史を振り返る。

・調査研究

大阪歴史博物館では調査研究活動をすべての根本として重視しており、学芸員と外部の研究者が共同でおこなう「共同研究」と、学芸員による資料や博物館学に関する「基礎研究」を実施している。このなかで、共同研究は難波宮研究と大阪学研究という二本柱を設け、難波

宮や大阪の歴史に関するテーマを掲げ、調査研究をおこなっている。

・館蔵品の収集、資料整理、データ整理事業

大阪の歴史と文化に関する博物館の機能を充実させるため資料の購入をおこなう一方、市民から資料の寄贈・寄託を受け、館蔵品の充実を図っている。

また大阪に係わる基本的な資料や無形文化財を二次資料である画像・映像・マイクロ写真資料で収集・整理し、研究活動に資するとともに学習情報センター「なにわ歴史塾」で市民に公開をおこなっている。

・教育普及事業

市民の歴史学習の支援のため、特別展等の開催にあわせた講演会・シンポジウム・展示解説、学芸員による講座や見学会、上方の伝統芸能の鑑賞会、体験学習などを実施している。

また学芸員と教員が意見交換をおこないながら、博物館を利用した学習プログラムの開発や、総合的学習の時間などに対する支援をおこなっている。

2階の学習情報センター「なにわ歴史塾」では、大阪の歴史や文化を自ら学ぼうとする市民の歴史学習をサポートするため、図書・映像ソフト・館蔵資料のデータ等を公開するとともに、カウンターでの学芸員による学習相談をおこなっている。

・広報事業

季刊「歴博カレンダー」や特別展のポスターなどを関係機関やインフォメーションセンター等で配付するとともに、市関係の広報誌やテレビ番組、地下鉄構内や街頭の広報板等を活用して、博物館情報を広く市民への周知を図っている。またNHKをはじめとするマスコミとの連携を図るとともに、小中学校向け手引きの活用をはじめ学校向けの情報発信にも努めている。さらに、ホームページを活用して、特別展・特集展・講演会・講座等の情報の発信をおこなっている。

延床面積

・ 23,606.54 m²

全職員数

・ 33名

年間運営費

・ 971,467,000円

総資料点数

・ 約80,000点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 経緯 2001年04月、募集開始。2001年11月、活動開始。
2003年09月、新規募集。2004年04月、活動開始。
- ・ 目的：大阪歴史博物館では、人と人との触れ合いのある博物館を目指し、常設展示にかかわる活動やサイトツアー、ワークショップなどの博物館活動に市民参加事業として博物館ボランティアを導入し活動の場を提供している。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 127名（2005年1月現在）
- ・ 男性：51名、女性：76名（2005年1月現在）
- ・ 平均年齢57歳：男性64歳、女性53歳（2005年1月現在）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課普及担当 担当人数：常勤 2名・その他（ ） 1名

活動の種類

- ・ 活動は以下の4事業について、博物館ボランティア127名が活動をおこなっている。
活動日は、休館日を除く毎日。
 - ①サイトツアー「難波宮遺跡探訪」（活動者28名）
前期難波宮跡の管理棟遺構や倉庫跡などのガイドツアーにおいて解説・誘導をおこなっている。
 - ②常設展示8階「歴史を掘る」（活動者28名）
再現された遺跡を使って、発掘調査や遺構・遺物の見方などが体験的に学ぶことのできるコーナーにおいて学習プログラムの案内や説明をおこなっている。
 - ③常設展示「スタンプラリー」（活動者39名）
10階・9階・7階の各展示場において、大阪の歴史に関するクイズを解きながら展示室を見学する子ども向けスタンプラリーを実施している。そのスタンプラリーに参加する来館者へクイズの解説などの案内をする
 - ④常設展示「ハンズオン」（活動者32名）
常設展示場での古代衣装の着付・文楽人形操り・江戸時代の両替商・明治の大阪名所双六など6種類の体験型事業を来館者向けにおこなっており、その運営及び説明と来館者への補助をおこなっている。

活動その他

- ・ 打合せ会を実施。
- ・ 館により運営。任期制あり。
- ・ 保険に加入している。
- ・ 館が研修を実施。
- ・ ボランティアの個性を尊重しつつ、事業の円滑な推進を追求している。

関連する出版物

- ・ 『大阪歴史博物館ボランティアハンドブック』

関連するHP

- ・ <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート① 活動名：サイトツアー「難波宮遺跡探訪」

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 28名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・ 前期難波宮跡の管理棟遺構や倉庫跡等のガイドツアーにおいて解説・誘導をおこなっている。

◇活動日

- ・ 休館日（火）を除いた毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 博物館の4階にボランティア控室有。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1日を午前、午後に分け午前3名、午後3名のボランティアが対応。
- ・ シフトについては、6週間を一つの単位としてボランティアに活動希望調査票を配付回収し、それを世話役3名（6ヶ月交替）により検討・調整し活動ローテーション表を作成している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティアだよりを発行。
- ・ 世話役を設けている。6ヶ月任期で交替。人数は3名。主な仕事は6週間を一つの単位で取り纏めている活動ローテーション表の作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報：市政記者クラブで記者発表、市政だより（大阪市民一家族に一部配付）、市政広報板にポスターの掲示、近隣の博物館及び美術館・近隣の大学に募集要項を配付設置。
- ・ 選考：課題（三題）を出し、その内容を元に選考を実施。
- ・ 時期：募集期間2003年9月29日～10月18日、選考期間2003年10月19日～11月30日
- ・ 人数：28名

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎年10日程度の研修を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費および食費分として、活動1回につき1,200円を支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 現状では特におこなっていないが、来館者への対応や、説明方法、その内容などを定期的にチェックする必要がある。自己学習や学芸員から聞いた成果をうまく説明に盛り込む人もいれば、微妙に内容がずれていった人も見受けられた。

◇課題と展望

- ・ ガイドツアー参加者の多寡は、来館者の増減との相関度が高く、閑散期にはしばしば参加者がいないため中止となるケースがある。活動や学習に対する意欲を損ねず、更に高めてもらうためにも、説明の機会を確保し増やしていく必要がある。事前の団体受付時におこなっている案内を継続するとともに活動内容の見直しを適宜おこなっていくことも重要であろう。

◇その他

活動個別シート② 活動名：常設展示8階「歴史を掘る」

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 28名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・ 再現された遺跡を使って、発掘調査や遺構・遺物の見方などが体験的に学ぶことのできるコーナーにおいて学習プログラムの案内や説明をおこなっている。前期難波宮跡の管理棟遺構や倉庫跡等のガイドツアーにおいて解説・誘導をおこなっている。

◇活動日

- ・ 休館日（火）を除いた毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 博物館の4階にボランティア控室有。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1日を午前、午後に分け午前3名、午後3名のボランティアが対応。
- ・ シフトについては、6週間を一つの単位としてボランティアに活動希望調査票を配付回収し、それを世話役3名（6ヶ月交替）により検討・調整し活動ローテーション表を作成している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティアだよりを発行。
- ・ 世話役を設けている。6ヶ月任期で交替。人数は3名。主な仕事は6週間を一つの単位で取り纏めている活動ローテーション表の作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報：市政記者クラブで記者発表、市政だより（大阪市民一挙族に一部配付）、市政広報板にポスターの掲示、近隣の博物館及び美術館・近隣の大学に募集要項を配付設置。
- ・ 選考：課題（三題）を出し、その内容を元に選考を実施。
- ・ 時期：募集期間2003年9月29日～10月18日、選考期間2003年10月19日～11月30日
- ・ 人数：28名

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎年10日程度の研修を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費および食費分として、活動1回につき1,200円を支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 現状では特におこなっていないが、来館者への対応や、説明方法、その内容などを定期的にチェックする必要がある。自己学習や学芸員から聞いた成果をうまく説明に盛り込む人もいれば、微妙に内容がずれていった人も見受けられた。

◇課題と展望

- ・ 来館者との対応をとおして感じた疑問や意見を学芸員に伝えることによってワークシートの改善などがおこなわれたこともあるが、そういった声をあげるボランティアは限られている。開館後3年を経過し、開館当初から活動しているボランティアと新たに加わったボランティアとの間に意識や知識量、活動内容に差が生じ、不平不満の声も聞かれる。そういった状況をお互いに理解しあつたうえで、相互に補い合えるかが、活動を円滑に進めるためには重要であり、大きな課題である。

◇その他

活動個別シート③ 活動名：常設展示「スタンプラリー」

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 39名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・ 10階・9階・7階の各展示場において、大阪の歴史に関するクイズを解きながら展示室を見学する子ども向けスタンプラリーを実施している。そのスタンプラリーに参加する来館者へクイズの解説などの案内をおこなっている。

◇活動日

- ・ 休館日（火）を除いた毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 博物館の4階にボランティア控室有。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1日を午前、午後に分け午前3名、午後3名のボランティアが対応。
- ・ シフトについては、6週間を一つの単位としてボランティアに活動希望調査票を配付回収し、それを世話役3名（6ヶ月交替）により検討・調整し活動ローテーション表を作成している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティアだよりを発行。
- ・ 世話役を設けている。6ヶ月任期で交替。人数は3名。主な仕事は6週間を一つの単位で取り纏めている活動ローテーション表の作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報：市政記者クラブで記者発表、市政だより（大阪市民一家族に一部配付）、市政広報板にポスターの掲示、近隣の博物館及び美術館・近隣の大学に募集要項を配付設置。
- ・ 選考：課題（三題）を出し、その内容を元に選考を実施。
- ・ 時期：募集期間2003年9月29日～10月18日、選考期間2003年10月19日～11月30日
- ・ 人数：39名

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎年10日程度の研修を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費および食費分として、活動1回につき1,200円を支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 現状では特におこなっていない。

◇課題と展望

- ・ 各フロアに2名配置されるスタンプラリーのボランティアが、展示場の動静を最も把握しているスタッフともいえ、博物館活動に寄与してくれている。特に、学校団体の見学が多い当館にとって、展示場に人が集中したときなど、積極的に声かけや目配りをしてきている。
- ・ 現在、基本的にはスタンプラリーにかかわる活動が主体であるが、今後活動の幅を広げてゆくことも考慮すべきだと考える。

◇その他

活動個別シート④ 活動名：常設展示「ハンズオン」

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 32名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展示場での古代衣装の着付・文楽人形操り・江戸時代の両替商・明治の大阪名所双六など6種類の体験型事業を来館者向けにおこなっており、その運営及び説明と来館者への補助をおこなっている。

◇活動日

- ・ 休館日（火）を除いた毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 博物館の4階にボランティア控室有。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1日を午前、午後に分け午前3名、午後3名のボランティアが対応。
- ・ シフトについては、6週間を一つの単位としてボランティアに活動希望調査票を配付回収し、それを世話役3名（6ヶ月交替）により検討・調整し活動ローテーション表を作成している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティアだよりを発行。
- ・ 世話役を設けている。6ヶ月任期で交替。人数は3名。主な仕事は6週間を一つの単位で取り纏めている活動ローテーション表の作成。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報：市政記者クラブで記者発表、市政だより（大阪市民一家族に一部配付）、市政広報板にポスターの掲示、近隣の博物館及び美術館・近隣の大学に募集要項を配付設置。
- ・ 選考：課題（三題）を出し、その内容を元に選考を実施。
- ・ 時期：募集期間2003年9月29日～10月18日、選考期間2003年10月19日～11月30日
- ・ 人数：32名

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎年10日程度の研修を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費および食費分として、活動1回につき1,200円を支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 現状では特におこなっていない。

◇課題と展望

- ・ メニューの中で、多数が参加できるものと、そうでないものがある。土日に実施する文楽人形使い体験や、古代の官人装束を着る体験などは、一度に少人数しか体験ができないが、これを目当てに来館する人もいる。開館後、同じメニューを実施しており、ボランティアも各メニューに習熟し、来館者には好評を博している事業であると考えている。今後、新たなメニューの開発をめざしてゆきたい。

◇その他

.....

館園名 : 国立民族学博物館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1977 年 11 月 01 日

所在地

・ 〒565 -8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1

公式サイト

・ <http://www.minpaku.ac.jp/>

設立主体

・ 文部科学省

運営主体

・ 大学協同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館

設立目的

・ 本館は、民族学・文化人類学に関する調査・研究を行うと共に、その成果に基づいて、民俗資料の収集・公開などの活動を行い、これらを通して、世界の諸民族の社会と文化に関する情報を人々に提供し、諸民族についての認識と理解を深めることを目的とする。

展示概要

・ 本館における展示は、民族学・文化人類学とその関連諸科学の最新の研究成果を多様なメディアを通じて社会に公開し、世界各地の文化についての認識を深めるとともに、文化の違いを超えた相互理解の場を提供することを目的とする。本館の展示は、本館展示と特別展示とで構成される。本館展示では、世界の文化の多様性と共通性についての広い理解が得られるよう、比較的恒常的な展示を行う。特別展示は、特定のテーマについて深く掘り下げた内容の展示を、期間を限って年に数回開催する。

活動概要

・ 上記の展示のほか、みんぱくゼミナール、学術講演会、研究公演、みんぱく映画会、博物館学国際協力セミナーなどを開催。地域研究企画交流センター、総合研究大学院大学の分科学研究科、情報センターをおく。ショップ、レストランなど。

・ 研究報告、調査報告、民博通信、年報、「季刊民族学」「月刊みんぱく」などの発行。

延床面積

・ 51,235 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 228 名 (2004 年 12 月現在)

年間運営費

・ 4,004,000,000 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 325,271 点 (2004 年 12 月現在) 標本資料と映像・音響資料のみ。

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：みんぱくミュージアムパートナーズ

活動目的・経緯

・目的：社会に対して、より魅力ある博物館の実現にむけて、館員とともに博物館活動を考えていくことを目的とする。

・経緯：1998年特別展「大モンゴル展」からワークショップの指導・助言及び解説補助等のため『国立民族学博物館ボランティア』をおく。以降、ボランティア活動を特別展開催期間中に必要に応じて実施。2002年、常設展示場でのボランティア活動実施を目指して『学習支援ワーキング』で検討。2004年、法人化にともない、ボランティア活動の見直しが諮られ、2004年開催の特別展「多みんぞくニホン」開催期間中は、『みんぱくサポーターズ』の呼称となる。2004年6月『みんぱくミュージアムパートナーズ募集開始。2004年9月『みんぱくミュージアムパートナーズ』発足式。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 142 名（2004 年 11 月現在）
- ・ 男性： 52 名、女性： 90 名
- ・ 平均年齢 51.1 歳：男性 60.3 歳、女性 45.9 歳

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 情報企画係
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（契約職員 ） 2 名

*担当としては、課長補佐1名、契約職員3名、教員1名だが、専属は契約職員2名。

*専門部会員を5名設け、提出される企画書の事前評価や助言を行う。

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・企画グループを設置し、個別の課題を専任的に企画立案し、主体的に運営する。
- ・企画グループの計画に沿ったかたちで全員が実際の活動に携わる。
- ・事務局を設置し、運営に際してパートナーズ内部の連絡調整、情報の管理及び博物館との連絡調整を行う。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・募集は2004年の6月から7月に行った。HPで広報し、面接して選考。154名が登録した。任期は一年間。各種研修を行った。来年度からの募集については未定。

関連する出版物

- ・なし

関連するHP

- ・<http://www.mkc.zaq.ne.jp/indonesia/mmp.htm>
- ・<http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners.htm>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし

活動個別シート① 活動名：特別展『アラビアンナイト大博覧会』企画グループ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 75 名（ 2004 年 月現在）

◇活動内容

- ・ 1. 展示場ハード面での企画（6名）。①テーマ曲を流す②音声で開閉するドアの設置等の企画を行ったが、設計上の変更ができないため、採用できなかった。
- ・ 2. 展示場ワークショップの企画（30名、グループに分かれて企画立案）。さまざまな立案のうちから、紙芝居、塗り絵、アラビア語を書いてみようのワークショップが採用され、実際に展示場内で運営された。
- ・ 3. 試着コーナーの運営に関する企画（13名）。
- ・ 4. 展示解説の企画（24名）。
- ・ 5. 広報・普及に関する企画も立案されたが、実行されず。

◇活動日

- ・それぞれの企画グループが検討を行い、提案書を作成のうえ提出された。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・社会連携室（ボランティア室）、備品（パソコン、印刷機、複写機、電話、FAX、事務用品）。
- ・予算あり。

◇運営（シフト 等）

- ・各企画グループに分かれて、立案と運営方法の検討を行った。
- ・運営に関しては各グループにまかせた。

◇交流（情報、組織 等）

- ・各企画グループの活動状況、活動報告、その他連絡事項は、事務局に集まるようにしている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・各企画グループが必要に応じて募集を行う。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・各企画グループが行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費・食費は支給しない。保険には自己負担で必ず加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・企画グループがそのまま展示場で活動する状態がみられた。企画グループと展示場で活動する運営グループの区分けがうまくいかない。理想としては、企画グループが立案した活動を、運営グループに研修させ、実践するかたちができほしい。今回は研修を行う時間もなく、また人的関係も築かれていない状態なので今後に期待。

◇その他

- ・

活動個別シート② 活動名：特別展『アラビアンナイト大博覧会』運営グループ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数（登録者数）

- ・ 前半 117 名、後半 93 名（2004 年 月現在）

◇活動内容

- ・シフトによる運営：一日六名、土日祝は九名。展示場案内、解説補助、試着コーナー、読書コーナーなどの補助。
- ・企画グループによる運営：地図の作成と魔法のワゴンの製作、紙芝居コーナー。

◇活動日

- ・9月9日から12月7日（水曜日休館）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・社会連携室（ボランティア室）、備品（パソコン、印刷機、複写機、電話、FAX、事務用品）。
- ・予算あり。

◇運営（シフト 等）

- ・本人の希望。

◇交流（情報、組織 等）

- ・パートナーズ室に連絡ノートをおき、活動したことが「気の付いたこと」「連絡事項」等を自由に書き込みだれでも閲覧できるようになっている。HPも活用。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・みんなくミュージアムパートナーズにDMで、参加の希望、活動できる月日を機器、調整のうえで活動日を知らせる。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・特別展「アラビアンナイト大博覧会」説明会、展示場説明会、中間点検、中間レクチャー（すべて西尾助教授）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費・食費は支給しない。保険には自己負担で必ず加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・企画グループがそのまま展示場で活動する状態がみられた。企画グループと展示場で活動する運営グループの区分けがうまくいかない。理想としては、企画グループが立案した活動を、運営グループに研修させ、実践するかたちができるほしい。今回は研修を行う時間もなく、また人的関係も築かれていない状態なので今後に期待。

◇その他

- ・

活動個別シート③ 活動名：みんぱくミュージアムパートナーズ事務局準備室

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 12 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・本年度より設置したみんぱくミュージアムパートナーズの事務局設立のための準備と、現在活動中の企画グループ、実行グループ及び民博との連絡調整を行う。

◇活動日

- ・毎週月曜日午前中。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・社会連携室（ボランティア室）、備品（パソコン、印刷機、複写機、電話、FAX、事務用品）。
- ・予算あり。

◇運営（シフト 等）

- ・準備室メンバーで調整。

◇交流（情報、組織 等）

- ・報告事項、連絡事項等はメールで配信。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費・食費は支給しない。保険には自己負担で必ず加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート④ 活動名：『みんなく動物園』運営グループ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 30 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 携帯電話によるQRコード読み取りのガイド。
- ・ ミッションノート、ミッションカードの利用ガイド。
- ・ 体験コーナーのおもちゃ等のガイド、管理。
- ・ 園内の案内。
- ・ 体験コーナーで実施できるプログラムの企画立案。

◇活動日

- ・ 平成 16 年 9 月 23 日から 11 月 23 日（水曜日は休館）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 社会連携室（ボランティア室）、備品（パソコン、印刷機、複写機、電話、FAX、事務用品）。
- ・ 予算あり。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ みんなくミュージアムパートナーズにDMで、参加の希望、活動できる月日を聞き、調整のうえで活動日を知らせる。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 企画展「みんなく動物園」説明会（小林教授）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費・食費は支給しない。保険には自己負担で必ず加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート⑤ 活動名：ひとはくフェスティバル出展

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 15 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

・兵庫県立人と自然の博物館で開催された「第九回ひとはくフェスティバル」に参加し、みんなくミュージアムパートナー特別展「アラビアンナイト大博覧会」での活動を紹介した。

企画グループより塗り絵、紙芝居、アラビア文字、試着、ワゴン各グループが参加し、実際の活動をひとはくフェスタで行った。

◇活動日

- ・ 2004 年 11 月 14 日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 自由参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・みんなくミュージアムパートナーズ特別展「アラビアンナイト大博覧会」企画グループに呼びかけ参加希望グループを募る。パートナーズ各人にはDMで参加を呼びかけた。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費・食費は支給しない。保険には自己負担で必ず加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

・パートナーズとの懇親もかねてバスツアーを企画したが、個人の車で参加するなど、参加者が集まらず、頓挫。

◇その他

- ・

.....

館園名 : サイクルセンター自転車博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1992年04月18日

所在地

- ・ 〒590-0801 大阪府堺市大仙中町165番6

公式サイト

- ・ <http://www.h4.dion.ne.jp/~bikemuse/>

設立主体

- ・ 株式会社シマノ

運営主体

- ・ 財団法人シマノ・サイクル開発センター

設立目的

- ・ 自転車に関する研究開発、自転車産業に資する人材の育成及びクラシック自転車等の収集・展示を行うことにより、我が国の自転車産業の発展に資すると共に国民の生活向上に寄与すること。

展示概要

- ・ クラシック自転車の実物展示を中心として、自転車の歴史を理解していただくコーナーや、自転車のメカニズムの解説・人と地球に優しい自転車文化の提案など体験できる展示コーナーも設置。

活動概要

- ・ 年に一度特別展を開催 ・ 年二回の安全乗り方教室 ・ 毎週土曜と第1・第3・第5日曜の自転車初心者教室 ・ 毎月1回自転車散歩 ・ 毎月1回手作りおもちゃ教室 ・ 毎月1回自転車組立て教室 ・ 毎月1回マウンテンバイクスクール ・ 年二回自転車ひろばまつり
- ・ 夏休みこども絵画コンクール開催 ・ いきいき自転車フォトコンテスト開催
- ・ イベントカレンダー発行。

延床面積

- ・ 1,355 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 3名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 55,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 300点（2005年01月現在）

施設その他

- ・ 大仙公園 自転車ひろば（体験場）

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

・

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 41名（2005年01月現在）
- ・ 男性：35名、女性：6名
- ・ 平均年齢 ?歳：男性 ?歳、女性 ?歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：事務局
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（非常勤） 1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。
- ・ 初心者教室の運営。
- ・ クラシック自転車レプリカ試乗の運営。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 特定非営利活動法人 遊塾（年二回、昔遊びのおもちゃの作り方・遊び方の指導）

活動個別シート 活動名：①館内説明

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 24 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展、特別展の解説。

◇活動日

- ・ 日曜、祝日、お客様（団体）より依頼のあった日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ 堺観光ボランティア協会に依頼。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 堺観光ボランティア協会に依頼。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 堺観光ボランティア協会に依頼。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 1 回 当館事務局長による研修講義あり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費として 1 回 1 人 1500 円支給。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート 活動名：②体験場インストラクター

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 17 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 自転車初心者教室、クラシック自転車レプリカの体験試乗の指導と補助。

◇活動日

- ・ 毎週土曜と日曜、祝日、小学校からの依頼のあった日（レプリカ試乗）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 担当職員が受講人数に合わせて依頼する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 1 回事務局長が研修講義。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 1 人時給 900 円支給 昼食支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 財団法人大阪市教育振興公社キッズプラザ大阪

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1997年07月00日

所在地

- ・ 〒530-0025 大阪府大阪市北区扇町 2-1-7

公式サイト

- ・ <http://www.kidsplaza.or.jp>

設立主体

- ・ 大阪市

運営主体

- ・ (財) 大阪市教育振興公社

設立目的

- ・ 子どもたちの発見、創作、表現、交流など多様な体験活動を活性化し、他の人々や物や情報との親密な関わりを促し、楽しい遊びを通して学び、創造性を培い、可能性や個性を伸張する。

展示概要

- ・ 遊びを通して何かに気づき、好奇心を深め、科学する心や創造性および個性を伸張していくことができる展示、障害者をはじめ誰もが安心して楽しめる展示、小学校高学年を主としながら、幼児から大人まで幅広く楽しめる展示がなされている。

活動概要

- ・ 教育活動に寄与しうるプログラムの提供、キットの貸し出し、アウトリーチ活動、展示物やプログラムの研究開発などを実施。

延床面積

- ・ 8,342.79 m²

全職員数

- ・ 31名

年間運営費

- ・

総資料点数

- ・ 65点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：インタープリター

活動目的・経緯

- ・ 1997年7月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 280名（2004年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：企画課フロアインタープリター担当、スタジオインタープリター担当、パソコンインタープリター担当
- ・ 担当人数：常勤5名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①フロアインタープリター、②スタジオインタープリター、③パソコンインタープリター。

活動その他

- ・ 館により運営。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

- 活動個別シート ①フロアインタープリター、
②スタジオインタープリター、
③パソコンインタープリター

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 280名(2004年)

◇活動内容

- ・ ①子どもたちが様々な遊びを体験しながら学ぶことをサポートする活動を行っている。
- ・ ②わいわいスタジオや音響スタジオで、子どもたちが参加するニュース番組や音のプログラムをサポートする活動を行う。
- ・ ③コンピューター工房やパソコン広場で、子どもたちが楽しくコンピューターとふれあえるプログラムをサポートする活動を行う。

◇活動日

- ・ 火～日曜日活動(休館日を除く)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティアルームあり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 月2回の活動が条件。担当曜日での活動を基本とする(1日15～20人)。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ ①は毎月、②③は随時会議を実施。①は曜日ごとの代表者による曜日リーダー会を毎月実施。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年に1回、HP、チラシ、マスメディア等で公募。対象：18歳以上。事前研修と面接あり。
- ・ 定年制あり。1年ごとに委嘱を更新。5年を年限とする。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 館による事前研修(4回)、体験研修(1回)を、登録前に受講する。
- ・ 随時、外部講師または職員が、展示物、来館者対応等の研修を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入。交通費を実費で弁償。
- ・ 1日活動の場合は、昼食費を支給(1,000円)。

◇評価

- ・ 委嘱の際、委嘱検討を行う。

◇課題と展望

◇その他

.....

館園名 : なにわの海の時空館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 2000 年 07 月 14 日

所在地

・ 〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北 2-5-20

公式サイト

・ <http://www.jikukan.or.jp>

設立主体

・ 大阪市

運営主体

・ (社) 大阪港振興協会

設立目的

・ 海や港とともに発展してきた大阪の歴史や、広く人と海・港とのかかわり等について市民に楽しく理解してもらうこと。

展示概要

・ 「大阪の海の交流史」を中心に「海がつなぐ世界の文化」「大坂みなとの繁栄」「船」「海への誘い」の4つのテーマで構成。江戸時代に活躍した菱垣廻船の実物大復元をメイン展示物としている。

活動概要

・ 展示・企画。
情報及び資料の整備・調査・研究。

延床面積

・ 20,700 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 10 名 (2005 年 1 月現在)

年間運営費

・ 4,300,000,000 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 180 点 (2005 年 1 月現在)

施設その他

・ 展示棟とエントランス棟 (エントランス棟内に会議室あり)

2. ボランティア活動 名称：なし

活動目的・経緯

- ・常設展等の案内は職員や案内スタッフが担当するが、繁忙期に実施される時間限定のイベントについては、ボランティアの協力を仰ぐこととした。(人員不足もあり)
- ボランティアスタッフには、来館者に対し、より来館者の目線に近い立場で、イベントメニューを案内してもらい、館と来館者を結ぶ役割を果たしてもらう。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 50名（2005年1月現在）
- ・ 男性：24名、女性：26名
- ・ 平均年齢45歳：男性55歳、女性36歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：企画課
- ・ 担当人数：常勤職員2名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 菱垣廻船すず払い。
- ・ ロープワーク。
- ・ ポイントビュー。
- ・ ものしりカプセル。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 各イベント毎に広報誌やHP上で公募。
事前に館内説明や研修を行った後、参加してもらう。
(以前に参加したことのある人に対しても同様の対応です)

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ [http:// www. jikukan. or. jp](http://www.jikukan.or.jp)

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 帆船「あこがれ」ウィンズクラブと連携しています。

活動個別シート 活動名：①菱垣廻船「浪華丸」すす払い

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 50 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 館の展示物である菱垣根周船の復元船の清掃作業。

◇活動日

- ・ 11 月～12 月の 1 日間。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 帆船「あこがれ」ウィングズクラブに募集情報を提供。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報誌、HP 上で公募。対象は高校生以上。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 作業前に菱垣廻船についての説明および作業手順の説明。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費等の支給なし。

◇評価

- ・ 菱垣廻船の仕組や歴史について知ってもらいと共に興味を持ってもらうという点では成果を上げている。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②ロープワーク教室

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 20 名（H. 17 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 船乗りの技術であるロープワークを応用してコースターやキーホルダーを作成。（その講師として）

◇活動日

- ・ 春・夏休み、ゴールデンウィークなど。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 材料、道具は当館により提供。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 実施日が決定次第、登録ボランティアに連絡して参加日程調整。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 職員が講師になり、事前に作り方の講習会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費の支給あり（額に上限あり）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・